

HEMS 特別企画座談会

広告



全日本電気工事業工業組合連合会
技能競技委員会 実務委員長
共栄電気株式会社 代表取締役社長

斎藤 賢 氏



全日本電設資材卸業協同組合連合会
ソーシャルインフラ委員会 委員
株式会社北海道佐々木商会 代表取締役社長

津川 雅良 氏

電力環境の変化がHEMS胎動の引き金に

磯崎 ここ数年、電力に関する国策が打ち出され、住宅・非住宅を問わず、「電気」に対する社会的な関心が高まっていますね。

澁江 日本人の公共心というか真面目さもある、電力事情が厳しいと聞くと自分も何かしないといけないと考えた方が多いですね。たとえば、駅が少々暗くても当たり前という感覚になっています。

斎藤 スーパーや工場でも間引き点灯したり、こまめに消灯したり、節電の意識が高くなっています。もちろん、企業の場合は節電の先にコスト削減というもうひとつの成果がついてくるということもあります。

津川 法人と個人の差は感じますね。会社なら、目標を設定してルールを決めてそれ

HEMSが
これからの住まいの
スタンダードに

磯崎 電力小売りの自由化で電力供給各社の料金メニューを選択できるようになると、そのメニューがきっかけとなりHEMS導入の機会が広がると思います。

斎藤 今はまだ電力の自由化は漠然と電気代が安くなるという認識ですが、選択肢が見えてくるとHEMSの活躍の場が広がりますね。新築だけではなく、既築のお客様へのアプローチの機会が生まれます。

澁江 昭和60年に電話の自由化が始まって競争原理が働いて、コスト競争と同時にいろいろなサービスが登場してきました。それと同様に電力の自由化から新しい世界が広がることを期待します。

澁江 見える化というのは、電気の健康診断のようなものだと思います。どこに問題があるかが見える対策を打てるようになる。

津川 自分は健康なんだと思っていれば、実はいろいろと問題があったという話ですね。

斎藤 私自宅にHEMSを導入しましたが、改めて我が家の生活スタイルが見え、改进了い、改善点も見つけられました。健康診断し

てよかったと思いますよ。

HEMSが
担うべき役割と
現状の課題

澁江 でも、対策を講じられるのもプロだからというところもあります。一般のエンドユーザーにとってはなかなか高いハードルになる

と思います。だからこそ、その対策が無理なく、快適に制御できるのが理想です。

磯崎 HEMS＝見える化

のように思われがちですが、それだけではありません。太陽光発電や蓄電池という分散電源をコントロールしたり、あるいはエアコンの温度を調節したり、無理なく、効率よく、しかも知らないうちに上手に電気を使える、というのがHEMSの本来機能です。

斎藤 そのためには、シンプルなものにしたいですね。ブルなシステムでないといけませんね。例えば、コンセントはどのメーカーの家電製品を差し込んでも普通に使える。それくらいにシンプルに

なっていてHEMSがこれからの住宅スタンダードになりえるのだと思います。

澁江 シンプルという視点で言えば、施工面も重要です。配線器具のように電気工事会社さんなら誰でも設置工事ができるシンプルなシステムになれば、さらに普及が進みます。

津川 シンプルにしているのは、フラットホームの共通化、一元化も必要ですね。HEMSがエネルギーマネジメントのベースとなって、その上で作動する設備は各メーカーが独自性を出してい

く。ベースとアプリケーションの切り分けという発想がいりますね。

磯崎 エコネットライツが通信プロトコルとしては標準化されていますが、HEMSのシステムの完全標準化には至っていません。今後はメーカー間の整合も含めてHEMSがシステムとして加速的に進化していくことは間違いないと思います。



2016年の電力小売り完全自由化、2020年の新築住宅のZEH化、

2020年代早期に移行を目指すスマートメーターの導入など、

今、住宅の電力事情が大きな転換期を迎えようとしています。

今後、電気はどう変わっていくのか、住宅はどう変わるのか、

また業界としてどう対応し、どうリードしていくのかというテーマで

全日本電気工事業工業組合連合会、全日本電設資材卸業協同組合連合会、日本配線システム工業会、

メーカーそれぞれの立場からお話をいただきました。

私たちの役目ですね。電気工事会社の弱点は営業力であることは確かですが、最近はお客様と直接コンタクトをとって提案営業している会社も増えていきますよ。

津川 HEMSを採用すれば新築でもリフォームでもインシャルコストはアップします。でも、それを補って余りあるランニングコストの軽減

や生活の利便性を得ることができる。このことをお客様に正しい情報としてお届けしたいといけません。これは私たちの業界としての使命です。

磯崎 さきほど申し上げましたようにメーカーの私たちもエンドユーザー向けのPR活動を開始します。電気業界の工・販・製が情報共有し、皆様の役割分担しながらHEMSの普及に、そして業界の

ビジネス拡大につなげていきたいと思っています。本日は、貴重なお話をいただきました。ありがとうございました。



パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
エナジーシステム事業部
新事業推進センター センター長

磯崎 典夫



日本配線システム工業会 専務理事
澁江 伸之 氏